

総合計画審議会 会議録

会議名	第2回 いなべ市総合計画審議会
開催日時	平成26年10月30日(木) 13:30~15:30
開催場所	いなべ市員弁コミュニティプラザ2階 集会室
出席者	<p>【委員】13名(欠席:中澤政直、伊藤和雄、西川良香、種村浩人、位田とよ子、多湖節男)</p> <p>丸山康人、小澤和茂、門脇よしゑ、畑中美奈子、水野章、小林久里子、伊藤久子、伊藤一人、出口真輔、美濃部昌利、永井澄美、近藤勝敏、川瀬正幸</p> <p>【事務局等】14名</p> <p>いなべ市:副市長、総務部長、都市整備部長、市民部長、福祉部長、企画部長、教育部長、水道部長、建設部長、農林商工部次長、こども家庭課長、政策課長兼財政課長、及び政策課職員3名</p> <p>【オブザーバー】1名</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 説明事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 会議に関する指針について ② 第1次総合計画達成状況について ③ 市民満足度調査(アンケート)の結果について ④ 第2次総合計画基本構想の骨子案作成に向けて 4. 審議 5. 次回の会議について 6. 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画策定スケジュールについて(10月30日現在) ・ 【資料1】いなべ市総合計画審議会の会議に関する指針(案) ・ 【資料2】第1次いなべ市総合計画の達成状況について ・ 【資料2 参考資料】総合計画基本計画成果一覧表 ・ 【資料3】第2次いなべ市総合計画策定のためのまちづくり市民満足度調査報告のまとめ(一般調査、中学生調査) ・ 【資料3 参考資料】第2次いなべ市総合計画策定のためのまちづくり市民満足度調査報告書(一般調査、中学生調査) ・ 【資料4】第2次いなべ市総合計画 骨子案
公開、非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0人
議 事 概 要	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ <p>【会長】</p> <p>皆さんこんにちは。今年の9月にまち・ひと・しごと創生本部というものが立ち上げられ、10月10日にも会合が開かれた。目標として、若い世代の就労、子育てをどのように実現していくか、東京に人口が一極集中していることの是正をどのようにしていったらいいのか、地域特性に</p> 	

即した地域課題の解決を国として支援していこうではないかということ掲げている。

今日の議題にもつながるが、次代を担うであろう中学生がこの地域についてどのように思っているのか、アンケートで見えてくると思う。

各学区で活躍されている皆さんが、どのような地域的な課題があると認識されているのかお尋ねしたいと思っているので、皆さんと一緒に『みんなで作る いなべの明日へ』に向かってビジョンをつくるべく活発な議論をお願いしたい。

3. 説明事項

【会長】

本日は事項書の、①会議に関する指針について、②第1次総合計画達成状況について、が終わった後にご質問をいただき、③市民満足度調査（アンケート）の結果について、④第2次総合計画基本構想の骨子案作成に向けての後に、ご質問をいただくようにしたい。まちづくりの課題のたたき台をベースに皆さんにご意見を出してもらおう形になると思う。

では、最初に説明事項の①会議に関する指針について、また、スケジュールについても事務局に説明をお願いする。

【事務局】

「総合計画策定スケジュール」（案）について説明。

「【資料1】いなべ市総合計画審議会の会議に関する指針」について説明。

【会長】

審議会の会議に関する指針となる。これをご了承いただき、適用してくことになるが、皆さんよろしければご賛同いただきたい。いかがか。

【各委員承認】

【会長】

よろしければ、次回から（案）を外し、公開も含めて本会議を進めていく。

次の②第1次総合計画達成状況について、説明をお願いする。

【事務局】

「【資料2】第1次いなべ市総合計画の達成状況」、「【資料2 参考資料】総合計画基本計画成果一覧表」について説明。

【会長】

事前に資料を拝見し、未達成事項はなぜできなかったのか、第2次の計画をたてるにあたって重要なことなので、達成できなかった項目の分析を次回までをお願いしている。

達成状況について質問があればしていただきたいと思う。未達成が「27.7%」というのは高いのか、低いかわからない。この点について事務局はどのように考えているのか。

【事務局】

そういった点も合わせて次回までに考えたい。

【会長】

あくまでもこれは相対的な関係だろうから、総合計画としてこの数字が妥当かどうかを次回までに確認してもらい、第2次計画では達成状況がどれくらいまでいかなければならないのかといったことも、次回説明してもらえればありがたい。

他にご質問があれば、次回に再度分析してもらい、資料2の参考資料の個別事業の未達成についての理由も説明してもらおう。それが次期計画に反映されていくことになる。

次に、③市民満足度調査（アンケート）の結果について、説明をお願いしたい。

【事務局】

【資料3】第2次いなべ市総合計画策定のためのまちづくり市民満足度調査報告のまとめ（一般調査、中学生調査）、【資料3 参考資料】第2次いなべ市総合計画策定のためのまちづくり市民満足度調査報告書（一般調査、中学生調査）について説明。

【会長】

これらを踏まえて、地域の課題などを検討・議論してもらうことになるが、アンケート調査の内容について確認、質問等があればお願いしたい。

【委員】

大人も中学生もあまり変わらない。住み良さの点で中学生も「豊かな自然に恵まれているところ」を挙げており、こういった層を大切にしていかなければならない。

【会長】

中学生で気になるのは、将来にわたって住みたい中学生が3割ということ。そのためにどのような取り組みをしていくのかは、いなべ市にとっての課題だと思う。これについては、後ほど議論したい。

ご指摘のとおり、大人も中学生も同様の傾向がうかがえる。幸せだと感じる中学生が多いことはありがたい。他に質問はあるか。

【委員】

満足度について。私はかろうじてまだ運転できるが、車に乗れない人の買い物などはどうか。高級衣料品や電化製品は市外に出ていくというのはやむを得ないのかも知れない。それでも満足されているということは大変よいことだが、高齢になって動けなくなったときに、買い物はどうなるのかという心配がある。

【会長】

これも課題の一つだと思う。これから高齢化が進み、車の運転ができない人の買い物をどうするのかといった対策、例えば市民協働でどのような仕組みでやっていくのか。これは、市としても課題として取り上げていただきたい。

【委員】

中学生アンケートの取り方について、こういった時期に配布回収するのか前回会議で質問したと思うが、結局どう行ったのか。

【事務局】

9月になったが、生徒全員がいるときに配布し、記入してもらい、回収している。

【委員】

学校を通じて実施したのか。

【事務局】

学校を通じて、授業の一環として実施していただいた。

【委員】

学校に登校できていない子ども達もいると思うが、そういった子ども達の意見もあがっているのか。

【事務局】

配布回収は学校にお任せしており、登校できていない子どもについてはこちらも把握していないが、ほとんどの子どもから回答を得ることができたと思う。

【会長】

では最後に、④第2次総合計画基本構想の骨子案作成に向けて、について事務局より説明をお願いしたい。

【事務局】

【資料4】 第2次いなべ市総合計画 骨子案について説明。

【会長】

今日の内容はボリュームがあり、全て理解していくのは大変だが、まずたたき台としてこういった形で出させてもらった。企業調査も今後結果が出るということなので、これから変わっていくこともあるだろうが、皆さんが日頃感じる地域の課題等を出してもらい、整理していきたい。

まずは全体に対する質問等があれば。

資料4の13ページ、14ページにいなべ市の課題が出ている。

【委員】

これまでの話を聞き、膨大な範囲での計画であることを感じた。第一次と第二次の計画を比較して決定的に違うところは、人口の推移ではないかと思う。総人口が減っていくのに、高齢化率が高くなっていく社会を迎える中で10年後の目標達成を考えながら計画をしていかなければならないと思った。

そしてこの計画案は、地域を活性化させて税収を増やすとか、産業を興すとか前向きな案であることと、人が老いるようにまちも老いていくので、過ぎしやすく過ごしていける、そういった両面をみていく計画でなければならないという感想を持った。

高齢化とともに労働力も減ってくるわけだから、誰が担っていくかということでは、女性が社会の中に参画できる基盤があると女性の労働力が期待できる。

また、元気な高齢者はたくさんいるので、そういった人たちの労働力を本人の「生きがい」としてこの計画の中に盛り込んでいくか。これらのキーワードを入れた計画をどのように策定していけばいいのかと聞いていた。

【会長】

ありがとうございました。ご指摘のとおりだと思う。国の動向もそういう方向に向かっている。他に何か気付いた点、今感じていることなどはないか。

【委員】

中学生に「最高に幸せ」という子どもたちがいることはすごくうれしいことで、平均よりも幸せと感じている子どもたちが多くことはとてもいいことである。先ほど質問したように、友達関係でつまずいていて学校に行けない子どもが自分の周りにもいるし、いなべ市には他にもいると思う。幸福感のことで「自然環境がいい」など物理的なところで考えればいなべ市はいいところだが、一方で、友達との関係のこじれで悩んで学校に行けない子どももいる。内面的な悩みがある子どもも多いのではないかと感じている

アンケートでは、元気に授業を受けている子どもの明るい面の結果が多いが、学校に行くことができなかつたり、話すことができない部分を細かくみてあげられるような、市としての姿勢も必要だと思う。家庭環境や児童虐待などの社会的環境が見えてくると思う。割合は低いかもしいないが、そういった子ども達の部分をみていけるといい。

内面的、発達面でもグレーゾーンの子も増加している。そういった子ども達の親支援体制や子ども自身の支援体制がもう少し充実していると、子どもも地域の中で元気に成長していけるのではないか。

【会長】

言われる不登校、ひきこもりも全国的には多いと思う。
教育委員会の近藤さん、中学生の不登校率はどれくらいか。いなべ市は多いか。

【委員】

いなべ市内の子ども達の状況は、極端に多いという状況ではない。一人ひとりの状況が異なるため、対応や相談体制を現場の先生方も含めた仕組みづくりが必要だと考えている。

【会長】

いい面だけ見ていくというより、むしろ問題点も具体的に数値等も踏まえながら対策を総合計画の中に盛り込んでいく。特に若い人達を育てていく上で、非常に重要な点である。

【委員】

中学生と触れ合うことが少ない。おばあさんと子どもの交流の機会を設けて、お互いが思っていることなどを話し合う場があればいい。親や先生に言いにくいことでも、高齢者だと話しやすいこともあるかもしれない。

【委員】

学校だけで取り組むには限界があるので、地域の協力をいただく「学援隊」という組織も各学校に設けている。登下校の見守りや総合学習への協力もいただいている。地域の目も含めて子ども達を見守っていただきたいと思う。

【会長】

世代間交流は重要である。

他市での先進的な事例などがあれば、紹介してほしい。総合計画の中に盛り込むことができれば、そういったアイデアも出していただければ。

【委員】

大安町の石樽小学校、石樽の里ではOBの方達を交えて、昔の米で餅つきをするなど、いろいろな事を児童とやっている。

【会長】

そういったことも、どんどんご紹介ください。

【委員】

最後のほうの「まちの魅力の向上」のところ、中学生もいなべ市の資源や特産物をわかっているが、これらを手がけている方達が高齢になった時に、若者たちにどうやって引き継いでいくか。もう少しアクションを起こして、体験学習するなどして農業をすること、職人になることなどの魅力を伝えていけるといいと思う。企業に勤めることもいいが、技術の継承のためのアイデアがあるといい。

【事務局】

農林商工部です。赤米などを若者にうまく継承していきたい場合、それを生産してもらっている生産組合の育成をし、若者への継承をしていきたい。

【委員】

私は体育協会でスポーツに携わっているが、その中には年配のスポーツ、若者のスポーツ、スポーツ少年団がある。スポーツ少年団の少子化により、子どもの取り合いをしている状態である。

この第1次計画の「達成」の基準がわかりにくい。「達成されていない」とあるが、利用料金の免除などがあり、利用数に反映されていないのではないかと。スポーツ少年団の人数もおかしい。

【会長】

次回までに数値の根拠を明確にしてほしい。

【委員】

女性の市への愛着が男性よりも低くなっているが何故か。

【事務局】

数値からは見ることはできないが、一般的には、男性は生まれ育ってずっと住んでいる、女性は結婚を機に移り住んでいるといった点は影響していると思われる。

【会長】

次回も骨子については議論していくので、次回までに目を通してもらい、いなべ市にとっての課題や展望を検討してほしい。

5. 次回の会議について

【事務局】

次回の会議は、12月5日 13時30分から訂正する。場所は同じこの場所である。

6. 閉会

その他事項